

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

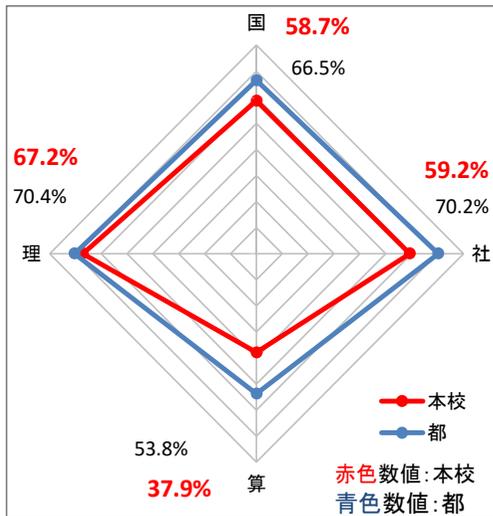
南葛西小学校

国語	教科の観点					教科平均	読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	93.3%	81.7%	39.8%	74.6%	55.2%	65.9%	73.1%	69.3%	66.9%	69.8%	66.5%
本校	88.1%	73.9%	24.8%	70.6%	47.0%	60.9%	51.5%	60.4%	57.4%	56.4%	58.7%
都との差	-5.2	-7.8	-15.0	-4.0	-8.2	-5.0	-21.6	-8.9	-9.5	-13.4	-7.8

社会	教科の観点				教科平均	読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事象について の知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	87.3%	72.6%	78.3%	62.0%	74.2%	72.0%	53.3%	52.9%	59.4%	70.2%
本校	84.7%	65.2%	73.5%	57.8%	70.3%	64.4%	41.1%	38.6%	48.0%	59.2%
都との差	-2.6	-7.4	-4.8	-4.2	-3.9	-7.6	-12.2	-14.3	-11.4	-11.0

算数	教科の観点				教科平均	読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形について の技能	数量や図形について の知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	84.1%	40.7%	65.8%	54.6%	59.0%	53.5%	21.9%	21.1%	32.1%	53.8%
本校	75.2%	32.7%	61.5%	45.3%	53.7%	44.1%	13.9%	8.4%	22.1%	37.9%
都との差	-8.9	-8.0	-4.3	-9.3	-5.3	-9.4	-8.0	-12.7	-10.0	-15.9

理科	教科の観点				教科平均	読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象について の知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	90.7%	61.8%	64.8%	79.1%	71.5%	72.2%	71.9%	59.1%	67.8%	70.4%
本校	86.1%	54.3%	65.3%	72.8%	69.6%	68.8%	67.8%	57.4%	64.7%	67.2%
都との差	-4.6	-7.5	0.5	-6.3	-1.9	-3.4	-4.1	-1.7	-3.1	-3.2



《都との比較にみる本校の状況》

【国語】正答率が都平均よりも特に下回ったのは「書く」の分野であった。特に、書きたいことがわかりやすく伝わるように、よりよい表現に書き直すことについて課題があった。

【社会】正答率が都平均よりも特に下回ったのは「思考・判断・表現」の分野であった。

【算数】正答率が都平均よりも特に下回ったのは「数量や図形についての知識・理解」と「関心・意欲・態度」の分野であった。

【理科】正答率が都平均よりも特に下回ったのは「科学的な思考・表現」の分野であった。

【読み解く力】各教科、各観点ともに、東京都の平均値を下回る結果となった。また、国語では「必要な情報を正確に取り出す力」、社会及び算数では、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」、が著しく下回る結果となった。

《授業改善のポイント》

【国語】相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書く指導の充実を図る。根拠の示し方を工夫し、自分の主張に説得力をもたせて書くという言語活動を行う際は、「読むこと」との関連を図っていく。

【社会】児童が見学などで調べてきたことを整理し、目的と手段や、原因と結果などの関係について発問し、社会的事象の特色や相互の関連、社会的事象の意味について考えさせる。

【算数】対話的な学習の中で発表された考えについて「他の場合でも使えますか。」や「～さんの考えを、～という言葉を使って説明しましょう。」の発問をすることで、自分の考えを確かめたり、数学的な表現を使って論理的に説明したりしようとする態度が身に付いていくようにする。

【理科】観察・実験の結果をグラフや表にまとめ、それらを基に考察して、根拠を示しながら自分の考えを説明する学習場面を設定していく。

《家庭・地域への働きかけ》

①家庭学習の習慣の確立  
「家庭学習の手引き」を示し、宿題をはじめとする家庭学習の習慣を確実に身に付けさせていく。

②読書力の推進  
読書を通じた探求的な学習(調べる学習)、学校図書館、地域図書館の活用を図る。読書週間中の家庭での協力や日常における読書カードの充実を図り、主体的に読み、問い続ける子どもを目指し、全ての学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を高めていく。